教科シラバス(1 年家庭科)

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	学年	1 年(普通・習熟)	単位数	2
教科書と副教材			家庭基礎　自立・共生・創造　 2016 生活学-Navi-資料＋成分表				

1.　科目目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
2.　学習方法	(1) 授業の持ち物について：教科書、ノート、資料集、のり、はさみ (2) 予習の仕方について：指示のあった場合は、次回授業の教科書 2 頁程度を読んだり、資料集を調べておきましょう。 (3) 授業の受け方について**＜授業では、授業内容が「わかる」ことを心がけましょう。＞** ア 授業は集中し、先生の説明をよく聞いて、板書を早くノートに正確に写すことを心がけましょう。実験実習の授業においては、グループの協力性と安全性を意識して取り組みましょう。 イ 学習プリントは、先生の指示に従ってまとめながら理解を深めましょう。自分の考えを自分のことばで書くように心がけましょう。また、理解できた点とそうでない点を明確にし、わからない点は、早めに先生に質問しましょう。 ウ 発表は、特に各自の家庭での体験を通した視点での意見や考えを述べることが多いので、自信を持って自分のことばで伝えましょう。 (4) 家庭学習の仕方について **＜家庭学習では、「わかる」から「やってみよう」という実践活動を心がけましょう。＞** ア 宿題(学習プリント)は、指示された期間内に必ず自分の力で調査したり、事前学習をしておくようにしましょう。 イ 宿題(作品制作など)は、提出期限を守り、必ず完成させて提出しましょう。 (5) 質問の仕方について 分からないことは早めに担当の先生に尋ねましょう。授業時間内の質問でも、放課後等でも質問することは可能です。特に制作にかかわる事は、早めに尋ねましょう。間違って制作した場合は、作りなおして再提出になり、どんどん提出が遅れることになります。
3.　学習評価	学習評価は、定期考査・学習プリントを含めたノート作り、提出された作品・課題、学習態度等によって行います。特に、ノートや課題の提出は、学習評価の必須条件となります。従って期限内未提出の場合は、当該科目が未認定になることもあります。
4.　学習サポート	(1) 定期考査の内容は、教科書(家庭基礎　自立・共生・創造)・学習プリントの中から出されることがほとんどなので、授業中、しっかり集中して学習していれば得点できます。 (2) 夏休みの課題「ホームプロジェクト」は各自が家庭生活の改善、見直しをテーマとして、学んだことを生かして実践活動をし、レポートにまとめて発表します。これは、家庭科の学習の集大成に近いものですから大きな評価となります。